

光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2022年6月号>

180号 2022.06.01 配信

日ごとに木々の緑が深まってまいりました。梅を漬け込む手仕事をお子さまと楽しんだり、アジサイやカタツムリなど季節の自然に触れたり、梅雨特有のジメジメを快適に過ごせるよう工夫してみたいかがでしょうか。夏を目前に控えた季節の移り変わりを味わい、感じながら、体調に気をつけてお過ごしください。（小学校教職員ネットワーク）

■同窓会だより

◇全国支部長会開催 5月14日(土) 11:00～13:00

坂東眞理子理事長・総長、小原奈津子学長にご出席いただき、会場に18名、Zoomで29名の支部長が全国から参加しました。松田アドミッション部長、伊藤キャリア支援部長から大学入試状況、就職動向の説明を受けました。支部長研修では、2021年度支部会アンケート結果並びに大学近隣の支部長による意見交換会の報告があり、金子会長からは支部活動活性化についての提案があり、意見を伺いました。また、沖縄県支部長が沖縄復帰50年の想いを語り、「光葉に寄せて」を黙唱、閉会しました。

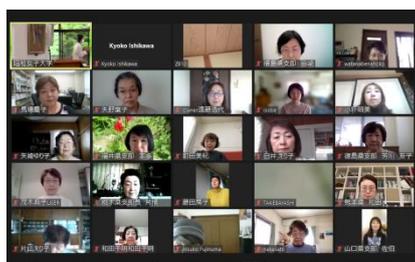


◇第49回 光葉同窓会総会 5月15日(日) 11:00～12:30

坂東眞理子理事長・総長、小原奈津子学長をお招きし、会場に101名、Zoomで42名が参加しました。議長を選任し議事を進行、第22期選挙管理委員会委員長が会長選出および副会長、常任委員選任について報告しました。新会長の金子朝子第8代会長挨拶の後、活動報告、決算報告、会計監査報告がありました。続いて活動計画案、予算案の提案があり、全て承認されました。議事終了後、光葉同窓会親子三代賞の授与を行いました。日本文学科1年の宮本楓花さんに奨学金と記念品が授与されました。

そして、記念講堂を始めとしてリニューアルされたキャンパス内をスライドで紹介しました。

「祝歌」を黙唱、2023年光葉同窓会創立50周年記念総会で再会できることを楽しみに閉会しました。



<予定>

◇2022年度幹事会 6月18日(土) 11:00～12:30 学園本部館 3階大会議室

学年幹事の皆様には往復はがきでお知らせしております。返信の締め切りは6月4日です。ぜひご出席ください。当日は感染症予防対策に充分注意して開催いたします。

■学園だより (広報部プレスリリース情報より一部抜粋)

◇「面倒見が良い大学(女子大編)ランキング」全国1位

大学通信が全国の進学校 2000 校の進路指導教諭へのアンケート調査をもとに「面倒見が良い大学(女子大編)ランキング」を発表し、全国的女子大で1位に選出されました。「昭和ボストン」独自の留学プログラムや、米豪中韓4大学とのダブルディグリー・プログラム、敷地内にあるテンプル大学ジャパンキャンパスとの共同授業など、グローバルな取り組みが特に評価されました。

◇「SWU-TUJ ダブル・ディグリー・プログラム」1期生が米州立大学を卒業

1期生4人(国際学科3人・英語コミュニケーション学科1人)が5月20日、米国ペンシルベニア州立テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)を卒業しました。本学で3年、TUJで2年、計5年間学び、両大学の学位を取得するもので、このプログラムの参加には英語力IELT 6.0以上、成績GPA 2.7以上などの高い基準を満たすことが求められています。

■ 広げよう光の葉

片木孝子さん(旧姓 斎藤)

1997年 生活美学科(現環境デザイン学科)

「母校の緑地に込める思い」

私は、中高部からの10年間の学園生活、長いブランクを経て、昨年からはランドスケープ設計者として、「てるてるテラス」と「3号館南側道路」2つの緑地の設計・施工監理に携わりました。

大学では家政学部生活美学科へ進み、杉浦ゼミに所属、建築を学びました。ある時、ゼミで世田谷区のプロムナードプロジェクトに参加し、ランドスケープデザインの分野を知りました。そこから火がついて、学部の選択科目で「造園」を履修、卒業制作ではコミュニティ施設で屋上緑化にチャレンジし、そして、本格的に造園を学ぶべく他大学の院へ進学しました。大学生活は自身の好奇心を育み、次のステップを踏む大事な時間でした。

就職した造園コンサルタントでは、公共公園、建築の屋上農園、寺社境内整備と多岐にわたる実務経験を重ねることができました。私にとって難関だった樹木医試験に合格した時、その報告のため、杉浦久子先生を訪ねました。先生は、私の成長をととても喜んでくださり、その後、京都の担当物件へ訪れてくださいました。まもなくすると、環境デザイン学科主催「OG懇談会」の登壇者にご用命くださり、そして、100周年記念事業の第二期として外構デザインコンペがあるので参加してみないかとお声かけくださいました。デザインコンペではOGらしさが功を奏して無事特定、私はこのプロジェクトに専従すべく昨年6月に会社を退職、独立をしました。

提案書作成から竣工までの約一年間、母校に想いを馳せて緑地をデザインすることは私にとって幸せな時間でした。

この「てるてるテラス」は、人が関わることで豊かな自然を持続できる、いわば昭和の「里山」です。早速、初等部の子供達が自然環境教育の場として活用してくれています。私の次なる夢は、「てるてるテラスで行う里山活動が、OGと在校生を繋ぐ架け橋となること」。それは、社会人メンター制度のように、OGが緑のサポーターとなって在校生と共に活動し、世田谷キャンパスに新たな「円居(まどい)」をつくりたい。OGとして、私が母校に貢献できることをこれから模索していきたいです。

本整備にあたり、素晴らしいチャンスをつないでくださった恩師杉浦先生に感謝するとともに、多くの皆様のご指導・ご鞭撻によって緑地を完成できたことに、謹んでお礼申し上げます。【End】

